

地域資源：農林水産物、家畜
 事業分野：食品、観光・旅行、健康・医療
 事業主体：生産者、大学、学校・保育園、市、県

○「すべての人々の生活に健康と美容と癒しを届ける」という理念の下、提携農家とともに宮古島の環境に適したアロエベラを栽培し、加工品の開発・製造を行う。自社農園ではヤギに雑草を食べさせフンをたい肥にして畑に戻す循環型農業を実現するとともに、ヤギと触れ合える観光牧場や、アロエ商品を中心とした土産店やカフェも展開。

基本情報

- 所在地：沖縄県宮古島市
- 選定表彰：
 - ・ 6次産業化アワード食料産業局長賞 (R1)
 - ・ 第7回「ディスカバー農山漁村の宝」(R2)
 - ・ 地産地消等優良活動表彰大臣官房長賞 (R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・ アロエ及びアロエ加工品
 - ・ 蜂蜜 ・ ヤギのいる観光農園
 - ・ オンライン体験 (アロエの食べ方・育て方教室)
- 活用した支援施策：
 - ・ 沖縄県離島デジタル広報・販売スキル向上事業
 - ・ 沖縄県農林水産物流通条件不利性解消事業

取組の概要

- ヤギを活用したアロエベラの有機栽培とともに、加工品（ジュース、美容ドリンク等）を開発・製造。アロエベラは通年収穫可能なため、雇用創出にも貢献。
- 2020年には牧場に隣接した場所にアロエベラと地元産マンゴー等のフルーツを使ったジュースやスイーツの提供、加工品等の販売を行うカフェをオープン。
- 地域の農家が農産物を販売できるよう直売所を開設し、地元の学校給食での提供や地産地消の推進や農家の所得向上にも貢献。



ヤギとアロエベラ

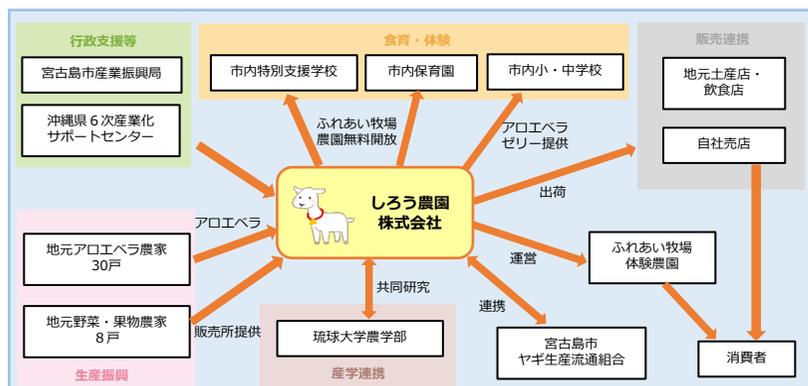


ふれあい牧場に併設するカフェ



しろう農園の従業員

体制図



取組の成果

- 直売所開設により売上が年間100万円増
- アロエ取扱額が10年間で8倍
- 従業員15人中10人が地元出身
- アロエ栽培面積が約15ha (国内最大規模)
- ヤギ30頭以上の観光農園により集客

ウェブサイト ▶ <http://shirou-nouen.net/> ▶ <https://www.goatcafe.jp/>

株式会社 沖縄UKAMI養蚕

地域資源：農林水産物、廃校、荒廃農地
事業分野：福祉、健康・医療
事業主体：就労支援事務所、地元企業

○地域の生物資源「エリ蚕（神樹蚕）」から生産された沖縄シルクをスキンケア商品として加工し、ブランド化してフランスや中国にも進出。養蚕と飼料生産に廃校と荒廃農地を活用するほか、養蚕施設の整備や飼料生産のために高齢者雇用、蛹と繭の選別のために農福連携に取り組むなど、地域の資源と人材を活用。

基本情報

- 所在地：沖縄県今帰仁村
- 選定表彰：
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」(R4) ビジネス・イノベーション部門 グランプリ
- 主力商品・イベント：
 - ・シルク製品（化粧品、ダイエット食品等）
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

- 今帰仁村内の廃校舎を活用し、エリ蚕の養蚕を開始。エリ蚕の餌のキャッサバ栽培圃場は耕作放棄地を活用しており、現在3.7haを借り受け、遊休地解消に貢献。
- 高齢者雇用のほか、養蚕の作業である蛹と繭（＝シルク）との分別を就労支援事業所と連携して実施。高齢者、障害者の活躍の場を広げ所得向上に貢献。
- フランスで自社ブランド「VILANJE（ヴィランジェ）」商品の販売を開始。R元年6月に国内大手通販会社、R3年12月に大手百貨店（東京・名古屋）、R4年6月には名古屋市内に販路を拡大。R2～4年度はコロナ禍の影響を受けたが、中国にリアル店舗を持つ大手百貨店越境ECサイトでの販路を獲得し、発信を続け認知度向上につなげている。



廃校を活用した作業場



荒廃農地を活用したキャッサバ畑



フランスでの
自社ブランド商品

体制図

設立年：平成18年4月（沖縄県へ本店移転 平成25年4月）

組織図：



構成員

取締役 2名
監査 1名
管理部門 1名
生産部門 2名
開発部門 3名
加工部門 1名

取組の成果

- 売上：約400万円（R1）→ 約1,600万円（R4）
- 荒廃農地の活用：1.3ha（H29）→ 3.7ha（R4）
- 就労支援B型事業所との連携：10回（H29）→ 26回（R4）
- 高齢者雇用数：2人（H29）→ 5人（R4）

ウェブサイト▶<https://www.ukami.co.jp/>